1

平行四辺形には，次の特ちょうがあります。

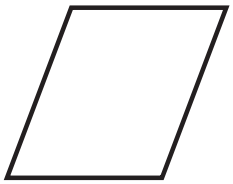
平行四辺形の特ちょう

平行四辺形は，

㋐　向かい合った２組の辺がそれぞれ平行である。

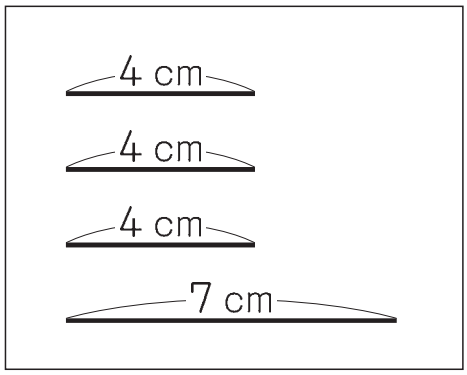
㋑　向かい合った２組の角の大きさがそれぞれ等しい。

㋒　向かい合った２組の辺の長さがそれぞれ等しい。

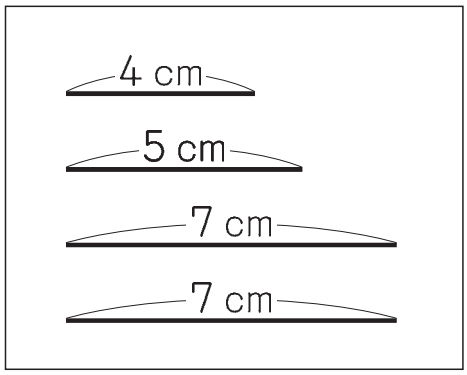


(1)　平行四辺形になる辺の組み合わせを，下の **1** から **4** までの中から１つ選んで，その番号を書きましょう。

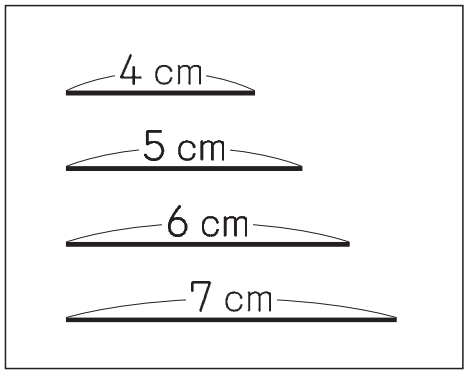
1



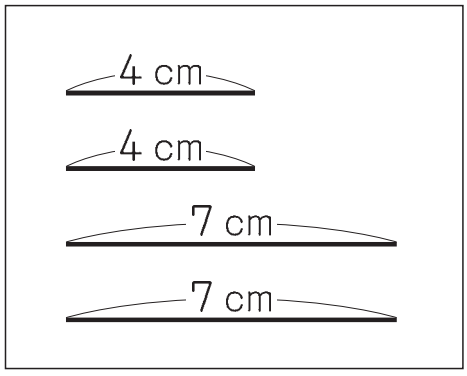
2



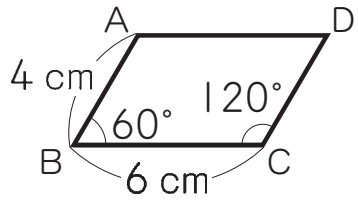
3



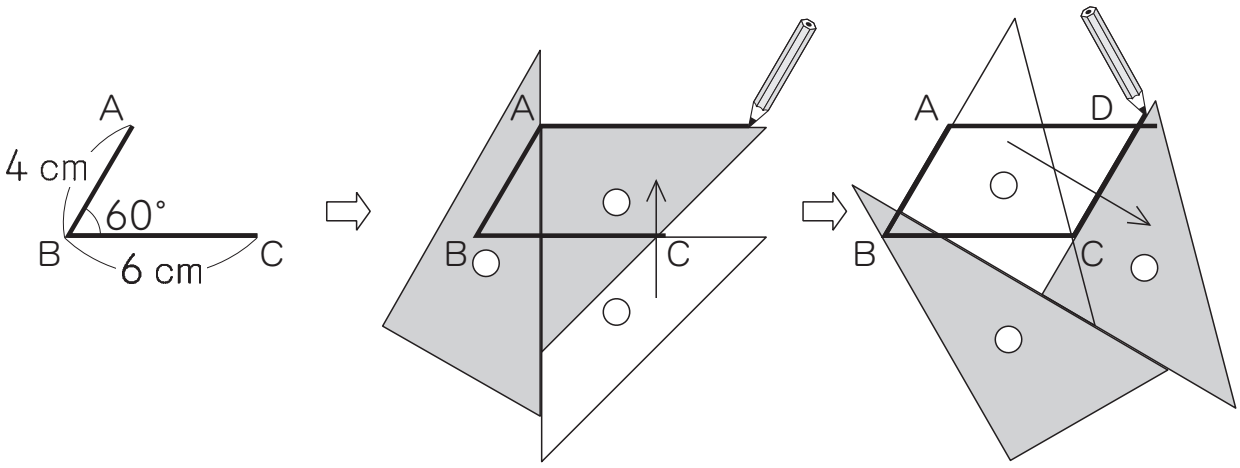
4



(2) 次の平行四辺形ＡＢＣＤをかきます。



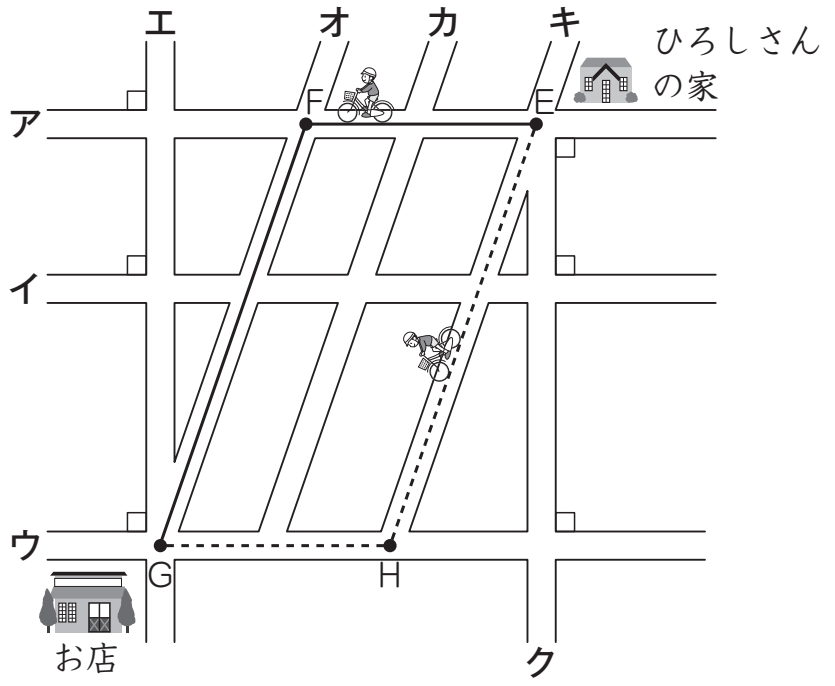
下の図のように，最初に，角Ｂが 60° になるように辺ＡＢと辺ＢＣをかきました。そして，三角定規（さんかくじょうぎ）を使って点Ａを通る直線と点Ｃを通る直線をかきました。



上の三角定規を使ったかき方は，左の**平行四辺形の特ちょう**の中の，どの特ちょうをもとにしていますか。

左の**平行四辺形の特ちょう**の ㋐，㋑，㋒ の中から１つ選んで，その記号を書きましょう。

(3) ひろしさんは，下の地図を使って，家からお店まで行くときの近道を考えています。



○ 道路**ア**，**イ**，**ウ**は平行です。

○ 道路**オ**，**カ**，**キ**は平行です。

○ 道路**ア**，**イ**，**ウ**は，それぞれ道路**エ**に垂直（すいちょく）です。

○ 道路**ア**，**イ**，**ウ**は，それぞれ道路**ク**に垂直です。

そこで，交差点Ｆを曲がる の道のりと交差点Ｈを曲がる の道のりを，下のように考えて比べました。

ひろしさんの考え

ＥＦとＨＧの道のりは等しく，ＦＧとＥＨの道のりも等しいことがわかります。だから，ＥＦとＦＧの道のりの和と，ＥＨとＨＧの道のりの和は等しくなります。

このことから，交差点Ｆを曲がる の道のりと，交差点Ｈを曲がる の道のりは等しくなります。

ひろしさんの考えにある，ＥＦとＨＧの道のりは等しく，ＦＧとＥＨの道のりも等しいことは，左の地図から見つかる図形の特ちょうを使うと説明できます。

左の地図からどのような図形を見つけたらよいですか。また，図形のどのような特ちょうを使えばよいですか。

図形と特ちょうを，言葉と地図にある記号を使って書きましょう。